外国語活動	第５学年	三原市立小泉小学校	T1　道林　幸 ALT Lorna Nyakoa

単元名

ローナ先生に，小泉小の先生を紹介しよう！
～She can run fast. He can jump high.～（We Can! 1 Unit5）

本単元で育成する資質・能力　表現力

○　令和元年７月２日（火）　第５校時

1　単元について

（1）　教材観

本単元は，自分や第三者について，できることやできないことを表す表現に慣れ親しませることをねらっている。音声を聞いたり，友達へのインタビュー活動などを通して，自分や第三者のできることやできないことを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しませていく。さらに，学習した表現を使って校内の先生にインタビューをする。単元終末には，インタビューしたことをもとに，校内の先生についてＡＬＴに紹介するというゴールを設定する。自分や第三者のできることを紹介し合ったり，認め合ったりする活動を通して友達の新たな一面を見つけたり，他者理解を深めたりすることができる単元である。

（2）　児童観

本学級の児童は，第４学年時に Let's Try! 1 及び，Let's Try! 2 を活用して，年間35時間の外国語活動の授業を受けている。今年度は，外国語活動を年間70時間設定し，１週間に２時間程度の授業を実施している。本単元を実施するにあたり事前調査を行ったところ，次のような結果になった。

調査項目	肯定的評価（割合）
①　外国語活動の授業に進んで参加しています。	19/19（100%）
②　外国語活動の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	18/19（95%）
③　外国語活動の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	18/19（95%）
④　相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	17/19（89%）
⑤　相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	18/19（95%）
⑥　英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	16/19（84%）
⑦　英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	14/19（74%）
⑧　英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	16/19（84%）

本学級の児童は，「自分から外国語活動の授業に進んで参加しています。」の質問に対して 100%の児童が肯定的に答えているが，実際には，外国語活動の授業で消極的な姿が見られる児童もいる。

また，アンケート項目の⑥⑦⑧に見られるように，「話すこと」において，反応をしたり，既習表現を用い

て会話を続けようとしたりすることが十分に定着していない。よって，「話すこと」や「聞くこと」の活動においては，相手の理解を確かめながら話したり，相手が言ったことを共感的に受け止める言葉を返しながら聞いたりすることを日頃から意識させていく。

（3） 指導観

指導に当たっては，まず，単元の始めにＴ１と学級担任が自分のできることやできないことについて，イラストを指し示しながら紹介する。そして，ＡＬＴから児童に向けて，小泉小学校の他の先生についても，詳しく知りたいので教えてほしいと児童に依頼をしてもらう。単元終末には，「ローナ先生に，小泉小の先生を紹介する」というゴールを設定し，単元への見通しを持たせる。

次に，動作を表す言い方について確認する。本単元では初めて三人称を扱うが，三人称動詞の動詞変化は複雑になるため，ここでは can を活用する。”Can you ~?” “Yes, I can / No, I can’t.” などの表現を活用しながら，自分や第三者のできることやできないことを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しませていく。

さらに，慣れ親しんだ表現を活用して，校内の先生にインタビューし，その結果をもとに，ローナ先生に小泉小の先生たちのことを紹介する。紹介する際には，相手にとって分かりやすくするために，伝える順番を決めたり，選んだりした上で，相手の反応を確かめながら話すことを意識させる。言語を使って伝え合う体験を通して，相手に対する理解を深めたり，自分の思いを伝えたりして，英語で伝え合えた満足感や達成感を味わうことができるような活動にしていく。

2　単元の目標

〇相手意識をもって，自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合う。

【コミュニケーションへの関心･意欲･態度】

〇自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

〇第三者について，できることやできないことを表す表現に気付く。　【言語や文化に関する気付き】

3　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識をもって，自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合っている。	自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。	第三者について，できることやできないことを表す表現に気付いている。

4　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	校内の先生にインタビューしたことをもとに，第三者の「できる」「できない」を表す表現を使って小泉小の先生を ALT に紹介する。
目指す児童の姿（話すこと［発表］）	This is Nagai Kyoto sensei. She can swim. She can’t ride a unicycle.

	She can play the piano.

5　言語材料(下線は新出表現，語彙)

主な表現	主な語彙
Can you (sing well)?　Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).	動作(play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, nice, kind, funny, active

6　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとしている資質・能力は以下の５点である。

①思考力　②表現力　③主体性　④自分と他者を尊重する心　⑤知識・理解

この中から，本単元において育成しようとする資質・能力について，つぎの点に重点を置く。

②表現力…　伝える内容の順番を決めたり，選んだりした上で，相手の反応を確かめながら話すこと。

7　指導と評価の計画

（全８時間）

時	目標（◆）と主な活動（○） 【　】＝誌面化されている活動	評価規準 評価方法	表現例
1	**課題の設定**　**情報の収集** ◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。 ○Small Talk：先生のできること・できないこと ○【Let's Play 1】 指導者の話を聞いて，誌面のどの動物かを推測して答える。 ○【Let's Chant】 ○【Alphabet Jingle】	【気】第三者について，できることやできないことを表す表現に気付いている。　≪行動観察・振り返りカード≫	I can (play kendama.) Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can't play kendama. You can (play kendama). You can't (play kendama).
2	**情報の収集** ◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりすることができる。 ○【Let's Chant】 ○【Let's Listen 1】 音声を聞いてどの動物かを考えて，イラストの下に番号を書く。	【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。≪行動観察・振り返りカ	I can (play kendama.) Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can't play kendama. You can (play kendama). You can't (play kendama).

	○【Let's Play 2】: ポインティング・ゲーム ○Let's Talk : イラストの中から，自分ができることを選んでペアに伝える。 ○【Alphabet Jingle】	ード≫	
3	**情報の収集** ◆できるかどうかを友達に尋ねたり，答えたりすることができる。 ○Small Talk : 作ることができる料理 ○【Activity 1】 ペアで，できることやできないことを予測して尋ね合う。 ○【Let's Listen 2】 音声を聞いて，どの動物のことかを考える。 ○【Let's Chant】 ○【Alphabet Jingle】	【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。≪行動観察・振り返りカード≫	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing).
4	**情報の収集** ◆できるかどうかを友達に尋ねたり，答えたりすることができる。 ○【Let's Chant】 ○【Let's Watch and Think 2】 ２人の会話から，それぞれができることとできないことを聞き取る。 ○【Activity2】 友達にあることについて，できるかどうかを尋ねる。 ○【Jingle】	【関】相手意識をもって，自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合っている。≪行動観察・振り返りカード≫	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing).
5 本 時	**情報の収集** ◆第三者の「できる」「できない」を表す表現を知り，聞いたり言ったりする。 ○【Jingle】 ○Let's Listen 教師の話を聞くことを通して第三者の紹介の仕方を知る。 ○Let's Talk 友達のできることとできないことについて，He / She を使って言ったり聞いたりする。	【気】第三者について，できることやできないことを表す表現に気付いている。≪行動観察・振り返りカード≫	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing). <u>He can / can't (sing).</u> <u>She can / can't (sing).</u>
6	**まとめ・創造・表現** ◆インタビューに行く先生を決め，準備をする。 ○【Let's Chant】 ○Let's Talk 友達のできることとできないことについて，He / She を使って言ったり聞いたり	【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。≪行動観察・振り返りカ	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing). He can / can't (sing). She can / can't (sing).

	する。 ○【Activity 3】 インタビューする先生ができることやできないことを予想する。 ○【Jingle】	ード≫ ②表現力	
7	**まとめ・創造・表現** ◆インタビューの内容を整理し，発表の練習をする。 ○Small Talk：好きな有名人 ○【Let's Chant】 ○【Jingle】 ○【Let's Listen 3】 音声を聞いて，どの人物かを考える。 ○【Activity 4】 インタビューの結果を整理し，発表の準備をする。	【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。≪行動観察・振り返りカード≫ ②表現力	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing). He can / can't (sing). She can / can't (sing).
8	**まとめ・創造・表現** **振り返り** ◆小泉小学校の先生について，「できる」「できない」ことを紹介する。 ○【Let's Chant】 ○【Jingle】 ○【Activity 5】 インタビューしたことをもとに，発表をする。	【関】相手意識をもって，自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合っている。≪行動観察・振り返りカード≫ ②表現力	Can you (play kendama)? Yes, I can. / No, I can't. I can (sing). I can't (sing). He can / can't (sing). She can / can't (sing).

8　本時の指導計画

（1）　目標

第三者の「できる」「できない」を表す表現を知り，聞いたり言ったりする。

（2）　評価規準

第三者について，できることやできないことを表す表現に気付いている。

【言語や文化に関する気付き】

（3）　準備物

電子黒板，絵カード，ワークシート，振り返りシート

（4） 展開

<table>
<tr><th rowspan="2">児童の学習活動</th><th colspan="2">指導者の役割</th><th rowspan="2">・指導上の留意点
評価規準
教科の指導事項(○)
（評価方法）</th></tr>
<tr><th>T1</th><th>ALT</th></tr>
<tr><td>1　挨拶をする。</td><td colspan="2">T1: Hello.
T1: How are you?（全体へ聞いた後，何人かの児童に尋ねる。）
T1: Let’s ask Lorna sensei.

ALT: How is the weather today?
ALT: What day is it?
ALT: What is the date?
ALT: What did you have for breakfast?</td><td>・反応を促しながら，ゆっくり，はっきりと挨拶をする。

・児童の言い間違いは指摘するのではなく，指導者が正しく言い直して聞かせることで気付かせる。</td></tr>
<tr><td>2【Alphabet Jingle】</td><td colspan="2"></td><td>・アルファベットの音を意識させる。</td></tr>
<tr><td>3 Review
Missing game
Keyword game</td><td>復習のためのゲームであることを伝える。</td><td>ゲームの前に絵カードで単語の復習をする。</td><td></td></tr>
<tr><td>4　指導者の話を聞いたり，質問に答えたりして，He / She の使い方について知る。</td><td colspan="2">T1: Lorna sensei, I have quiz. This is who am I quiz. Please guess.

T1: Quiz 1. (写真を児童の方にだけ見せる。)
He can cook. He can’t play the piano. He can play the drums. Who do you think this is?
ALT: Ummm… Is it Fujii sensei?
T1: No, this is not Fujii sensei.
ALT: Is it Motooki sensei?
T1: No, this is not Motooki sensei.
ALT: Is it Hirai sensei?
T1: Yes! This is Hirai sensei.

T1: Quiz 2. (写真を児童の方にだけ見せる。)
She can cook. She can’t play table tennis. She can play the piano.
ALT: Oh, is it Mitani sensei?
T1: No, this is not Mitani sensei.
ALT: Is it Suga sensei ?
T1: No, this is not Suga sensei.
ALT: Is it Kyoto sensei?
T1: That’s right! This is Kyoto sensei.

T1: Quiz 3.(写真を児童の方にだけ見せる。)
What should I say? He? She? (児童に考えさせる。) That’s right! He! He can play baseball. He can’t ride a unicycle. He can swim well.
ALT: Is it Mtooki sensei?
T1: That’s right!
ALT: Oh, I see.</td><td>・He / She については，意味を教えるのではなく，会話の流れや視覚的支援によって意味に気づかせるようにする。

・She can ~. He can ~.の文を何度か繰り返し，しっかりと聞かせる。</td></tr>
</table>

5　単元の流れを振り返り，本時の学習課題を確認する。	友達の「できる」「できない」を表す表現を，聞いたり言ったりしよう。		・単元の流れを振り返り，本時での学習が，単元末での先生の紹介をする際の表現に使えることを確認する。
6　インタビューした事をもとに，友達のできること，できないことについて Who am I quiz を出し合う。 ・言い方を練習する。 ・班でクイズを出し合う。	・例を示し，言い方を確認する。 S1: She can run fast. She can't swim. She can ride on the unicycle. She can play tennis. S2: ○○san? S1: That's right!	・どのように言ったらいいのか困っている児童を支援する。	○【気】第三者について，できることやできないことを表す表現に気づいている。（行動観察・振り返りカード） ・三人称を用いるための練習ではなく，その人物のできること等の内容面に着目させる。
7　ふりかえりをする。	・言語面と内容面の両方についてのふりかえりを取り上げ，評価する。	・良かった点について，肯定的評価をする。	

（5）板書計画

天気

Tuesday

July

2nd

第三者の「できる」「できない」を表す表現を，聞いたり言ったりしよう。

表現力：伝える内容の順番を決めたり，選んだりした上で，相手の反応を確かめながら話すこと。

He / She の導入で使う写真

単元計画

絵カード
(動作を表す言葉)

ワークシートの拡大

反応
WORDS